

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	静岡銀行大船支店建替工事	階数	地上5F,地下1F
建設地	神奈川県鎌倉市大船一丁目180番19、外1筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所,飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023/5/31 竣工	評価の実施日	2021/12/10
敷地面積	709㎡	作成者	大成建設株式会社
建築面積	575㎡	確認日	2022/10/27
延床面積	2,829㎡	確認者	大成建設株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.5
Q2 サービス性能: 2.9
Q3 室外環境(敷地内): 3.5
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 2.4
LR3 敷地外環境: 3.0

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合 景観条例では壁面緑化、屋上緑化は認められないためグラウンドレベルにて最大限緑化を計画した。建物をセットバックすることで、既存のスカイラインとの調和を図っている。	その他 特になし
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 事務室はOAフロアを採用しており、電気配線、通信配線は仕上げ材を痛めることなく更新することを可能としている。
Q3 室外環境(敷地内) 建物をセットバックすることで、既存のスカイラインとの調和を図っている。屋上設備は周囲に配慮し目隠し壁を設置。	
LR1 エネルギー ビルマルチによる個別空調方式を採用する。	LR2 資源・マテリアル 特になし。
	LR3 敷地外環境 近隣建物のスカイラインの調和を図る為、建物をセットバックした配置形状とした。セットバック部、接道部は緑地とし、街並みの連続性を確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される